



## 2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年11月5日

上場会社名 株式会社MCJ

上場取引所 東

コード番号 6670 URL <https://www.mcj.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼最高経営責任者 (氏名) 高島 勇二

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼最高財務責任者 (氏名) 石戸 謙二

TEL 03-6739-3403

四半期報告書提出予定日 2020年11月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家及びアナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	82,119	12.9	8,440	26.9	8,715	28.9	6,367	38.5
2020年3月期第2四半期	72,729	14.0	6,652	46.6	6,759	50.0	4,598	46.7

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 6,051百万円 (54.3%) 2020年3月期第2四半期 3,920百万円 (73.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	64.91	
2020年3月期第2四半期	46.88	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	77,570	47,941	60.7
2020年3月期	77,248	44,194	56.1

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 47,101百万円 2020年3月期 43,321百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		23.50	23.50
2021年3月期					
2021年3月期(予想)				28.99 ~ 29.91	28.99 ~ 29.91

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想については、本日(2020年11月5日)公表の「2021年3月期 通期連結業績予想及び配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	163,400	6.3	14,500 ~ 15,000	5.8 ~ 9.4	14,700 ~ 15,200	6.6 ~ 10.3	9,500 ~ 9,800	26.2 ~ 30.2	96.83 ~ 99.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想については、本日(2020年11月5日)公表の「2021年3月期 通期連結業績予想及び配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	101,774,700 株	2020年3月期	101,774,700 株
期末自己株式数	2021年3月期2Q	3,666,652 株	2020年3月期	3,666,652 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	98,108,048 株	2020年3月期2Q	98,092,738 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等はさまざまな要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3頁「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法について)

当社は、2020年11月6日にライブ配信での機関投資家及び証券アナリスト向け四半期決算説明会を開催する予定です。なお、当日使用する四半期決算補足説明資料は、TDnet及び当社ホームページに同時に掲載いたします。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

#### <連結経営成績の概要>

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緊急事態宣言の発出によって過度に委縮していた経済活動の再開や政府による各種経済刺激策の効果並びに海外におけるロックダウン解除による経済活動の再開等により一部でリバウンド的な動きが見られたものの、新型コロナウイルス感染症拡大の継続により、引き続き社会・経済活動が大きく制限され、企業収益や景況感の悪化、個人消費の減退等極めて厳しい状況で推移しており経済活動の回復に向けた動きは鈍く、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの属するパソコン市場は、前期市場を大きく盛り上げる要因となった「Windows 7」のサポート終了に伴う買い替え需要及び消費税増税前の駆け込み需要の反動減に加え、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い顕著となっていた企業によるテレワーク需要や個人による巣ごもり需要についても期中において減速感がみられること等から、前年同期比で出荷台数は1.8%減少、出荷金額についても11.4%の減少となりました。

また、当社グループが事業展開を行う欧州各国及び東南アジア各国においても、新型コロナウイルス感染症の影響によるロックダウン等の政策により、当第2四半期連結累計期間（海外子会社の2020年1月～6月）の一部において事業活動に大幅な制約が出ております。

このような状況にも拘らず、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は82,119百万円（前年同四半期比12.9%増）、営業利益は8,440百万円（同26.9%増）、経常利益は8,715百万円（同28.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は6,367百万円（同38.5%増）となり、売上高、各利益の全てにおいて第2四半期連結累計期間としての過去最高を更新する結果となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりです。

#### ① パソコン関連事業

普及モデルの「mouse」ブランドパソコン、高付加価値・特化型製品であるクリエイター向けパソコン「DAIV」、ゲーミングパソコン「G-Tune」等のBTO（受注生産）パソコン及び完成品パソコンの製造・販売、並びに「iiyama」ブランドによる汎用、デジタルサイネージ、タッチパネルの欧州におけるモニタ販売を中心に、マーケットニーズを的確に汲み取り、新製品・新サービスの投入を行うことで、積極的に事業を展開してまいりました。

国内パソコン関連事業におきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う企業におけるリモートワーク需要や個人による巣ごもり需要等にはかつてほどの勢いは見られないものの、新型コロナウイルス感染症に対する警戒感等から引き続きデジタル製品やサービスに対する需要は根強く、顕在化している需要及び潜在的需要の双方に合致した製品展開及び営業施策を展開いたしました。また、知名度向上によるマーケットシェアの拡大を狙い2017年3月期より継続的に実施しているテレビCM、Web広告等の広告宣伝を中心に、新しい生活様式に対応したデジタル製品・サービスへの継続的な需要増加を見据え、引き続き積極的なセールスプロモーションを展開し需要開拓に努めたことにより、個人向け法人向け共に大きく伸ばいたしました。

欧州モニタ事業におきましても、ロックダウン等の各国政策による事業活動の制約を受けたものの、リモートワーク需要や個人による巣ごもり需要等による需要増加やロックダウン後の経済活動の再開に伴う需要に合致した製品展開及び営業活動を行うと共に、販売動向に応じた在庫確保にも迅速に対応した結果、前年同四半期比で増益にて着地いたしました。

以上の結果、当事業における当第2四半期連結累計期間の売上高は80,599百万円（前年同四半期比13.8%増）、営業利益は9,076百万円（同34.9%増）となりました。

#### ② 総合エンターテインメント事業

「aprecio」ブランドで複合カフェ店舗の運営や「MIRA fitness」ブランドによる24時間フィットネスジムの運営等を行っております。新規出店の大幅抑制等によりコストを抑えた運営を行ったものの、前期第4四半期より継続する新型コロナウイルス感染症拡大に伴う店舗営業への影響による各種提供サービスの利用者数の減少により、当事業における当第2四半期連結累計期間の売上高は1,535百万円（前年同四半期比20.8%減）、営業損失は551百万円（前年同四半期は59百万円の営業利益）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ①資産、負債及び純資産の状況

#### (資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は77,570百万円となり、前連結会計年度末と比べて321百万円の増加となりました。これは主に、現金及び預金や受取手形及び売掛金等の営業債権が減少したものの、たな卸資産が増加したこと等によるものであります。

#### (負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は29,629百万円となり、前連結会計年度末と比べて3,424百万円の減少となりました。これは主に、短期借入金等が増加したものの、長期借入金や買掛金等の営業債務が減少したこと等によるものであります。

#### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は47,941百万円となり、前連結会計年度末と比べて3,746百万円の増加となりました。これは主に、為替換算調整勘定の減少等によりその他の包括利益累計額が減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益により利益剰余金が増加したこと等によるものであります。

### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べて1,477百万円減少し、22,343百万円となりました。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果獲得した資金は1,401百万円（前年同四半期比26.0%減）となりました。これは主に、たな卸資産の増加額3,820百万円、仕入債務の減少額1,623百万円、法人税等の支払額4,438百万円等の減少要因に対し、税金等調整前四半期純利益9,508百万円、売上債権の減少額2,397百万円等の増加要因があったこと等によるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は734百万円（同1.2%減）となりました。これは主に、投資有価証券の売却による収入866百万円があったものの、有形固定資産の取得による支出1,045百万円、差入保証金の差入による支出257百万円、貸付けによる支出212百万円があったこと等によるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は1,810百万円（同10.4%減）となりました。これは主に、短期借入金の純増額1,350百万円があったものの、長期借入金の返済による支出982百万円、配当金の支払額2,302百万円があったこと等によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い足元においてはパソコンやモニタ等のデジタル製品に対する需要を上手く汲み取り堅調に推移している一方、国内においても新型コロナウイルス感染症感染者数の高止まり及び企業業績や雇用環境に対する負の影響の兆候が散見されます。また、欧州においても1日あたり感染者数が過去最高となりロックダウンを取り入れる国が出てくる等、引き続き新型コロナウイルス感染症の拡大傾向が継続しており、国内外における今後の景気動向や企業業績、消費マインドの動向等の事業環境が極めて不透明であるものの、現時点で入手可能な情報や予測等に基づき連結業績予想を算定いたしました。

なお、当該予想に関する詳細につきましては、本日公表の「2021年3月期 通期連結業績予想及び配当予想に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	23,957	22,485
受取手形及び売掛金	16,017	13,563
商品及び製品	16,056	17,640
仕掛品	296	227
原材料及び貯蔵品	8,346	10,578
その他	1,768	2,351
貸倒引当金	△10	△9
流動資産合計	66,431	66,835
固定資産		
有形固定資産	5,418	6,038
無形固定資産		
のれん	470	446
その他	513	586
無形固定資産合計	984	1,032
投資その他の資産		
その他	4,467	3,715
貸倒引当金	△52	△52
投資その他の資産合計	4,415	3,663
固定資産合計	10,817	10,734
資産合計	77,248	77,570
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	10,276	8,620
短期借入金	2,240	3,826
未払法人税等	2,372	1,520
製品保証引当金	1,011	1,075
その他の引当金	444	537
その他	6,427	4,886
流動負債合計	22,773	20,466
固定負債		
長期借入金	8,686	7,667
退職給付に係る負債	336	345
その他	1,257	1,149
固定負債合計	10,280	9,162
負債合計	33,054	29,629

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,868	3,868
資本剰余金	8,898	8,898
利益剰余金	31,608	35,671
自己株式	△386	△386
株主資本合計	43,988	48,051
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	38	1
為替換算調整勘定	△707	△953
退職給付に係る調整累計額	1	1
その他の包括利益累計額合計	△667	△950
非支配株主持分	873	840
純資産合計	44,194	47,941
負債純資産合計	77,248	77,570

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	72,729	82,119
売上原価	54,616	62,072
売上総利益	18,113	20,047
販売費及び一般管理費	11,460	11,606
営業利益	6,652	8,440
営業外収益		
受取利息	33	46
為替差益	30	89
負ののれん償却額	9	9
受取手数料	23	17
投資有価証券売却益	37	93
その他	53	85
営業外収益合計	188	343
営業外費用		
支払利息	47	47
支払手数料	19	7
その他	14	13
営業外費用合計	81	67
経常利益	6,759	8,715
特別利益		
固定資産売却益	2	-
受取和解金	-	848
特別利益合計	2	848
特別損失		
固定資産除却損	15	0
固定資産売却損	0	0
賃貸借契約解約損	-	51
事務所移転費用	-	3
事務所撤退費用	27	-
その他	0	0
特別損失合計	43	55
税金等調整前四半期純利益	6,717	9,508
法人税、住民税及び事業税	2,188	2,967
法人税等調整額	△70	136
法人税等合計	2,118	3,103
四半期純利益	4,599	6,404
非支配株主に帰属する四半期純利益	1	36
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,598	6,367

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	4,599	6,404
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4	△61
為替換算調整勘定	△673	△291
退職給付に係る調整額	△9	△0
その他の包括利益合計	△678	△353
四半期包括利益	3,920	6,051
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,942	6,085
非支配株主に係る四半期包括利益	△21	△33

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	6,717	9,508
減価償却費	368	403
のれん償却額	118	33
負ののれん償却額	△9	△9
受取利息及び受取配当金	△33	△46
支払利息	47	47
受取和解金	-	△848
為替差損益 (△は益)	1	△6
固定資産売却損益 (△は益)	△1	0
投資有価証券売却損益 (△は益)	△37	△93
売上債権の増減額 (△は増加)	1,514	2,397
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,490	△3,820
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,060	△1,623
未払金の増減額 (△は減少)	△5	△1,053
預り金の増減額 (△は減少)	45	36
その他	△178	△98
小計	4,994	4,823
利息及び配当金の受取額	33	47
利息の支払額	△47	△47
和解金の受取額	-	848
法人税等の支払額	△3,087	△4,438
法人税等の還付額	-	168
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,894	1,401
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△95	△4
定期預金の払戻による収入	90	-
投資有価証券の取得による支出	△1,093	△29
投資有価証券の売却による収入	931	866
有形固定資産の取得による支出	△481	△1,045
有形固定資産の売却による収入	5	1
無形固定資産の取得による支出	△103	△145
差入保証金の差入による支出	△52	△257
差入保証金の回収による収入	42	32
貸付けによる支出	△10	△212
貸付金の回収による収入	12	63
その他	9	△2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△743	△734

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	400	1,350
長期借入れによる収入	740	200
長期借入金の返済による支出	△1,081	△982
配当金の支払額	△2,008	△2,302
その他	△71	△74
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,020	△1,810
現金及び現金同等物に係る換算差額	△379	△334
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,249	△1,477
現金及び現金同等物の期首残高	21,201	23,820
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,952	22,343

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	パソコン 関連事業	総合エンターテ インメント事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	70,792	1,937	72,729	—	72,729
セグメント間の内部 売上高又は振替高	7	—	7	△7	—
計	70,799	1,937	72,737	△7	72,729
セグメント利益	6,726	59	6,786	△133	6,652

(注) 1. セグメント利益の調整額△133百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△441百万円、セグメント間取引消去等308百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	パソコン 関連事業	総合エンターテ インメント事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	80,584	1,535	82,119	—	82,119
セグメント間の内部 売上高又は振替高	14	—	14	△14	—
計	80,599	1,535	82,134	△14	82,119
セグメント利益又は セグメント損失(△)	9,076	△551	8,525	△84	8,440

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△84百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△409百万円、セグメント間取引消去等324百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。